

2019年度 長期滞在型・ロングステイ観光学会 分科会について

1. 「一時帰国の利便性向上による海外ロングステイ促進に関する研究会」

代表申請者 花井友美（帝京大学）

海外ロングステイヤーの生活の基盤は日本にあり、彼らはロングステイ先と日本との間を頻繁に往復する。ロングステイ先と日本との往復にあたっては、渡航の目的、距離・時間に関係なく、共通してほぼ同じような手続きや書類が必要であり、その上でロングステイ先の国・地域ごとの対応が求められる。海外ロングステイヤーの往来においては、これらの手間やリスクが一定の制限や制約を与える可能性がある。本分科会では、簡略化された手続き等で海外渡航できるストレスや時間的ロスの少ない観光を「ボーダーレス観光」と呼び、それを海外ロングステイの推進に必要な諸条件のひとつと捉え、関連課題を整理することを目標とする。なお、成果は本学会の学術大会等で発表し、公表する。